

新美良布保育園の建設にあたって、保育士としての願い

2021, 1, 21 / 岡本 由美

●安全・安心な保育園

①死角のない施設

- ・平屋で、職員室を中心に保育室が一望できるのが理想。

保護者の様子・子どもの様子どちらも、いつも見れる場所に、職員室を置いてほしい。
保護者が声をかけやすい状況、子どもがのぞきに来やすい場所が職員室であってほしい。
支援の必要な子ども達の居場所でもありたいと思う。

- ・玄関(門)を一つにする。

不審者対策。→職員室の者が対応するのであれば、門が一望できる場所に職員室を！
今の保育園は、門が5箇所あるので、把握しづらい。
子どもたちが出入りする様子が見れる場所に、職員室があるといい。

②日陰のある園庭やプール施設

- ・木が植樹できればうれしいが、大きく育ちすぎるのものちのち大変なので、木を選択して欲しい。

植樹が無理な場合、日陰をどうつくるかも考えて欲しい。
プールは、不審者対策を考え外から見えないなど、ガードできるものも考えて欲しい。

③火事や地震が起こった場合に避難しやすい施設

- ・乳児は、0, 1歳児は避難車を使用。2歳児から5歳児は、避難スリッパを使用している。

0歳児は、ベビーカーのような避難車を使用する事が多い。着脱に時間がかかるが、人数は多く乗せられない。1歳児は、立って乗れる避難車を使用。避難車を置く場所も必要となる。
現在、香美市役所香北支所(基幹集落センター)が避難場所となっているので、外まで出れば、移動は短くて済む。立地場所により、避難経路の模索も必要である。長い距離を逃げるのは、困難。

④子ども達が生活しやすい保育室

- ・一日の生活の中で、乳児は朝のおやつを食べ、昼食を食べ、午睡をし、午後のおやつも食べます。一つの保育室で、掃除や片付けを何度も行い、その度に子ども達はどこかに移動して準備ができるのを待つ事になります。また、排泄の後始末、手洗い、おしり洗い、着替え、消毒、行う度に子ども達から離れず、見守りができる動線も大事になります。

乳児・幼児ともに、保育室からの出入りが簡単にできて、すぐに園庭に出られる環境が大切です。
乳児は、散歩や園庭に出るだけで時間がかかります。靴をはく、帽子をかぶる、排泄の状態のチェック、人数確認。それを行うだけで、出かける時間が短くなります。
幼児は、支援の必要な子どもたちが増えて、集団に入れず、時には「クールダウン」が必要な子どももいます。保育室とは違う空間が必要で、目の前に園庭があればすぐに出られて、見守りながら保育もすすめられます。
また、生活全部を一部屋で行なうのには無理が生じるので、ランチルームのような場所か、午睡が別の部屋でできれば、子ども達を急かす回数も減り、余裕が生まれます。

⑤自園方式の給食室

- ・アレルギー食・離乳食にも、子どもの様子に合わせて給食の提供ができる自園方式の給食室の設置が必要です。
- ・子ども達の五感を刺激する意味でも、作る姿が見えて、匂ってくる、音が聞こえる環境が大事です。食育をすすめるうえでも、子ども達が見える場所への設置をしてほしい。

⑥職場環境 としての充実

- ・職員は、現在6のローテーションで、7:30～18:30まで勤務しています。昼休みが取れる休憩場所の設置や夏のプール遊びの後に着替える場所(シャワーなど)も必要です。
- ・現在、職員トイレは1箇所(男女兼用)で、和式のみ。0, 1歳児の部屋に1箇所あるが、南棟の職員のみ使用。給食室専用のトイレも和式で使いづらい。職員数にみあったトイレの設置をしてほしい。
- ・また、来客や研修の時に使用できる会議室や作業(課業や行事の準備)ができる場所も設置して欲しい。
- ・教材や道具類が置ける場所(倉庫)も屋内に設置してほしい。
- ・防災用品の保管場所も必要です。
- ・園庭には、運動用具(マット・跳び箱・竹馬・運動会用品等)の倉庫や園庭用の砂場用品・スケーターなどを入れるおもちゃ倉庫も必要です。

- ・二階園舎には、反対です。

保育室を二階に置くとなると、どうしても死角ができるからです。

職員室も、不審者対応を考えると、一階に必要です。

給食室も、業者の搬入や対応を考えると、二階は無理です。

では、二階に配置できる部屋はと考えると、ホール・教材室・ランチルーム・会議室・休憩室などでしょうか？

しかし、平屋で建築するのが、やはり望ましいと思います。